

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
領域開拓プログラム最終評価結果表

課題	規範理論と経験分析の対話
研究テーマ名	地域に資する再生可能エネルギー事業開発をめぐる持続性学の構築
研究代表者	西城戸誠
所属機関・部局・職	法政大学・人間環境学部・教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>再生可能エネルギーにかかわる問題は今日もっともニーズの高い研究テーマのひとつであり、5つの再生可能エネルギー事業の事例を内外において丹念に調査し、着実に多くの研究成果を海外も含めて広く発表している点で高く評価できる。他方、同事業が持続可能な開発・地域に根ざした内的発展につながる条件を明らかにするべく、各事例を総括しより一般的な考察へとつなげることには必ずしも成功していない。採択時に付された「法規範や行政学の専門家と連携してほしい」という意見が反映されていれば、この点に踏み込めたのではないかと考えられる。多くの論文や学会発表は、必ずしも学術的なものばかりではなく、どこまでが真に本プロジェクトの成果であるか明確ではない。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い